

# 【農業生産の振興（ふくしま食と農の絆づくり運動の取組み）】

## ～ 県中地方園芸産地応援学習会 ～

### 1 開催趣旨

「ふくしま食と農の絆づくり運動」は、消費者と農業者が連携を深め、県中地方における農業への価値観を共有できる関係構築を目指す運動であり、昨年度から各種交流機会の創出や関連情報の発信を行っている。

今年度は、「園芸産地の支援」を大きなテーマに掲げており、その取組みの一環として、都市部の消費者を対象に、園芸産地の振興と地元野菜の活用による健康な食生活への理解促進を図る学習会を開催した。

### 2 開催内容

- (1) 主催 県中農林事務所、「ふくしま食と農の絆づくり運動」県中地方推進本部
- (2) 共催 J Aたむら菜の花プロジェクト実行委員会
- (3) 日時 平成20年10月4日（土）9：00～15：30
- (4) 場所 田村市船引公民館（田村市船引町）ほか
- (5) 参加者 一般消費者 20名
- (6) 内容

#### ア J Aたむらピーマン選果施設（三春町）

J Aたむら職員の菅野氏から、ピーマンの集荷から選別、出荷に至るまでの一連の作業について、選果システム（ライン）の実際の動きをもとに説明を受けた。

#### イ ピーマン栽培ほ場の見学と摘取り（三春町）

町内在住のピーマン栽培農家で、「グリーンファーム込木<sup>くぐりき</sup>」の代表を務める安部さんのほ場を訪問した。「グリーンファーム込木」は、7名の農家でピーマン生産を行っている任意組織で、安部さんからピーマン露地栽培を行うようになった経過や栽培の難しさなどの話を伺った後、参加者各々ピーマンの摘取体験を行った。

ピーマンの摘取りは初めてという方がほとんどであったが、安部さんの指導により渡された袋いっぱいピーマンを摘み取っていた。

#### ウ たむらの菜種油・エゴマ油を使用した地元野菜等の試食

田村市船引公民館において、J Aたむら女性部の方々が、菜種油を使った「チンジャオロース」やエゴマ油を使った「小芋の煮っころがし」などの作り方の説明を行った。

また、でき上がった料理は、昼食（弁当）として参加者全員でおいしくいただいた。

#### エ 野菜と健康に関する講話

（株）ヨークベニマルで食育活動を担当されている杉浦温子氏を講師に、野菜摂取不足の現状や、同社が参画している「5 A DAY運動」の活動についての講話をいただいた。講話の最後には、きゅうりを使って「五感を使って野菜を食べてみる」ことを行い、色や形、匂い、手触りから野菜に親しむことの大切さを教わった。

#### オ 農産物直売所見学（お買い物）

J Aたむら農産物直売所「ふあせるたむら」を訪問し、佐藤店長から直売所の概要を説明いただいた後、参加者全員で買い物を行った。特に、なつはぜのジャムは他店では入手できないことから、人気を集めていた。

### 3 取組みの成果

学習会終了後に、提出されたアンケートでは、生産の大変さや、野菜摂取の大切さを痛感したとの感想や、直売所の増設及び生産者との交流会、産地見学等のイベントを今後も望む要望が多く出されるなど、参加者の園芸振興に対する一定の啓発がなされた。

### 4 現在の問題点と今後の改善方向

本学習会のように、実際に産地見学を行うことは、消費者にとって、農業の現状を知る良い機会になるとともに、自らの食生活を考察する機会となるようである。

予算が厳しくなる中、今後に対応は難しくなるが、さらなる経費節減を図りながらも、消費者と生産者、生産・流通現場を結びつける企画は、継続していく必要がある。



ピーマン選果場見学



ピーマンほ場（摘取体験）



「チンジャオオロスづくり」説明状況



昼食の様子



野菜と健康に関する講話



農産物直売所「ふあせるたむら」店長説明の様子